

いしづえ

2019年7月
新年度号

発行:社会福祉法人
バプテストめぐみ会
理事長:上田 正紀

77

CONTENTS

巻頭言	1	北白川いずみ保育園便り	5
2019年度 事業計画書	2~3	バプテスト・ホーム便り	6
創立記念式典	4	新人職員紹介、寄付金のご報告、編集後記	8

巻頭言

「福祉施設の仕事の魅力」とは

理事長 上田 正紀



2025年には、団塊の世代(第2次世界大戦後の1947年~1949年に生まれた人達)がすべて75歳を超えて後期高齢者となる。国民の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上という「超・超高齢社会」を迎える、いわゆる2025年問題です。

医療費、介護費、年金等の社会保障給付費全体では、2015年から2025年の10年間で約30兆円も増加すると言われています。

もっとも深刻になるのは働き手不足です。厚労省の需給推計によると2025年には約38万人の介護職員が不足する見込みと言われています。

どう考えてもこれからの日本の社会保障諸制度の運営は厳しくなります。

今後、人工知能(AI)やロボットの技術革新により産業界は大きく変わっていくでしょう。AIやロボットには出来ない仕事とは何かと考えると、子どもや障害者やお年寄りへの支援が大切に思えてくるのではないのでしょうか。

人が人を支援し、相手を思いやる心を大切にする社会福祉法人の役割は大きくなると思います。

今年度も、事業計画に基づいて、全事業所一同頑張りますので、ご支援よろしくお願い致します。

「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ」

(聖書 ヨハネによる福音書 15章16節)



2019年度 事業計画書 (抜粋)

背景がき

2018年度の上半期は、経営状況が厳しくなり、組織体制の変更を下期に入ってから大幅に実行しました。2019年度は新組織体制の下に法人の大原則であるキリスト教主義を基本理念とし、安心・安全第一とコンプライアンス(法令遵守)を徹底し法人の経営方針を実行します。

バプテスト・ホームの全面建て替え(14年後の創立50周年目標)に向けて土台をしっかりと創りあげる第一歩の年度となります。新組織体制で法人の経営方針を徹底すれば実現できます。事業は、その時代の流れに適した決断をすることが重要になります。社会保障費の財源が厳しい中の時代では事業拡大を目指す時ではないと思います。むしろ、ダウンサイジング(事業規模の縮小)も考えなければ事業の継続が難しい時代です。「バプテスト」を信頼してご利用される多くの方々のために、英断を実行する勇気を持ち確実な資料に基づいて、協議し思い切った経営を実行する必要があります。

今年10月には、消費税率10%への引き上げが予定されています。確実に実行して、今後の社会保障費の維持に充当してもらいたいと思います。又、介護報酬がプラス0.39%改定されます。特別養護老人ホームなどの食費・居住費の基準費用額も消費税率引き上げの影響分を上乗せする。あるいは、介護人材のさらなる処遇改善が行われ、介護職員以外の処遇改善も今回新たに認められる予定になっています。

一方、保育園においては、小規模保育園の増加、認定子供園を視野に入れた改修、定員増の園も多くなり、少子化と合わせて園児の獲得競争も厳しくなる傾向にあるので、園児の動向に注目しつつ職員体制も柔軟に対応する必要があります。幼児教育を無償化する、子ども・子育て支援法も予定されています。様々な法改正に対応できる柔軟な体制が必要になります。運営管理の面では、就業規則・給与規定等の諸規則を社会福祉法人めぐみ会として高齢者福祉総合施設と統一化を法人事務局で、検討することが必要になります。

高齢者福祉総合施設は「冬の時代」の中で、児童福祉施設も厳しい不透明な状況下でも、基本理念のキリスト教主義及び経営方針(1から6、具体的には1から3の実行)を不変とし、変革時代にしっかりと対応できる経営基盤の強化を図り、提供するサービスの質の向上を図ると同時に地域社会のニーズに対するサービスを提供できる社会福祉法人経営を実行します。

社会福祉法人 バプテストめぐみ会 理念

わたしたちは、イエス・キリストの愛の実現を願って高齢者福祉に取り組みます。

- 一、利用される方々の尊厳を守り、人権を尊重し畏敬の念をもって福祉サービスの向上に努めます。
- 一、利用される方々に寄り添いその人らしい人生の実現を求めて、共に生きることを日々目指します。
- 一、地域と連携して高齢者とそのご家族の生活を支え、社会から信頼される福祉の拠点となれるように努めます。

設立標語聖句

「夕暮れになっても、光がある」(ゼガリヤ書 14章7節)

接遇標語聖句

「喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣きなさい」(ローマ人への手紙 12章15節)

社会福祉法人 バプテストめぐみ会 経営方針

1. 地域の福祉施設として、十分なサービスを積極的に提供し、地域福祉の充実発展に貢献する。
2. 職員の資質向上を図り(職員研修の促進)提供するサービスの質の向上に努める。
3. 「報告」「連絡」と「相談」(ホウレンソウ)を実行し働きがいのある職場を実現する。
4. 健全かつ活力のある継続した事業経営のために財務基盤の安定を図る。
5. 行政・福祉施設・医療施設との連携、協力を強化し、高齢者福祉の充実発展に寄与する。
6. 情報を公開し、透明性の高い公平・公正な法人経営を目指す。

特別養護老人ホーム バプテスト・ホーム 運営方針

団塊の世代が75才になる2025年を目途に、重介護であっても地域で暮らし続けていくための地域包括ケアが掲げられています。

地域に根差した施設であることを目指し、地域の一員として「認知症であっても最期まで自分らしく暮らしていくための支援、高齢者の最期まで口から食べたいと思う欲求に応えていくための支援」、この2つを柱に施設運営を行っていきます。

I バプテストめぐみ会 長期計画

1. 高齢者福祉総合事業
特別養護老人ホーム 創立50周年(2033年)全面建て替えを目指す。
介護保険制度の動向を見極め、地域福祉サービスの充実・財務状態を健全にし、新たな事業を展開する。
2. 北白川いずみ保育園
特別養護老人ホームと同時期の建て替えを目標に検討し、資金の積み立てを行う。
定員以上の園児在籍を保ち、保育のための優秀な人員を揃える。

II バプテストめぐみ会 中期計画(2~3年間)

1. 高齢者福祉総合事業
・2016年度バプテスト・ホーム改修工事が無事完了し、長期計画を実現するために、人事及び財務の経営管理の再構築を行う。
・バプテスト・ホーム北館 3階の有効利用を全職員で慎重に検討し実行する。
・きょうと福祉人材育成認証制度の上位認証制度取得に向け、キャリアパス・人事考課制度の導入を目指し人材育成・研修体制の強化を図り新しい組織管理体制の構築を行う。
・介護保険制度の動向を見据えながら、介護予防総合事業に対応すべく新たな事業展開の検討を行う。
また、地域福祉サービス充実のため、地域密着型サービスの事業展開を視野に入れる。
2. 北白川いずみ保育園
・開設から40年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。園児の安全を第一とし計画的に修理を行っていく。
・長期計画を実現するために建築資金を積み立てる。
・人材の確保や育成に努め、働き続ける意欲の持てる職場環境を目指す。
・少子化の進む中、保護者から選ばれる保育園となるように今まで培ってきた保育や食育等いずみ保育園の特色をPRする。

Ⅲ 2019年度計画

高齢者福祉事業

【特別養護老人ホーム】

- 目標稼働数（定員80名）
長期入所 1日平均77人（短期入所85人 合計85.5人）
- 空床発生時の対応
 - 特養優先入所待機者を常に3～5名確保し、空床が発生すれば速やかに入所手続を行い、10日を目標に新規受け入れを行う。
 - 入所までに時間がかからないよう、入所判定会議を随時開催する。
 - 空床発生時には、臨機応変に短期入所として活用する。
- 職員のレベルアップ・チームワーク
 - 介護技術を含め、介護に関する勉強会実施、認知症・高齢者虐待予防・尊厳保持・看取りケア等の内部研修の実施。
 - 入浴、食事、排泄について個々の状態を把握し、その方にあったケアを提供する。
- 入所者生活の質向上
 - ご利用者が望む生活の実現へ向けての取組み。
 - 認知症であっても自分らしく過ごすため、生活を支えるケアを実践する。
 - 最期まで口から食べることができるとの取組み。
 - 施設内の看取り介護への取組み。
- 地域との連携
 - ご利用者が地域の行事へ参加できるように支援する。
 - 同法人保育園との交流。
 - 地域ボランティアの受入。
- 情報発信
 - 施設での取組、利用者の生活の様子や職員についてなど、広報誌やホームページを用いて広報していく。
 - ホームページにて施設での取組等を就職活動者向けの情報として掲載し、求人活動につなげていく。

【在宅事業部門】

- 短期入所生活介護（定員6名）
目標稼働数 1日平均利用者数 8.5人
 - 利用登録者を増やし、キャンセル発生時に即対応につなげ、空床をつくらない。地域の居宅介護支援事業所に営業・広報活動を積極的に行う。
 - 緊急にサービスが必要と判断される場合は、迅速な対応を行う。
- 通所介護
 - 目標利用人数
1日平均利用者数 修学院デイ 29人・粟田デイ 31人・高野デイ 29人
利用者登録 90～100名
 - 新規利用者の獲得
体験利用から新規利用へと繋げる事が出来るように、居宅介護支援事業書への営業・広報活動を行う。
 - 人材育成
 - 経験年数に応じた資格取得の支援。
 - 外部研修の受講。
 - サービスの向上
 - ご利用者の意向及び興味を考慮しつつ、生活に張り合いを見出すためのアクティビティの実施。
 - 事業所の機能に応じたサービスや加算、提供時間の見直し。
 - 地域との交流
 - 地域ボランティアの積極的な受け入れ。
 - 地域行事への参加及び協力。
 - 実習生の受け入れ。
- 居宅介護支援事業所
 - 目標稼働率
1ヶ月平均担当件数 37件を目標に、新規ケースを受けていく。
 - 適正な運営
 - 特定事業所としての配置体制の確保。
 - 特定事業所集中減算がないように、公正中立の立場を踏まえて対応。
 - ケアプランの依頼相談に対して可能な限り対応する。
 - 資質向上
 - 内部・外部研修等を通じて、総合力を高める。
 - 苦情や相談、要望等を真摯に受け止め、より質の高いサービスを提供する。
 - 医療との連携
 - かかりつけ医との連携。
 - 入退院時の支援
 - 地域ネットワーク構築
 - 地域包括支援センターとの連携・協力。
 - 高齢支援の拠点として住民が安心して相談できる事業所を目指す。
- 訪問介護
これまで赤字運営を改善するために、積極的な求人活動や事業所移転、時間外労働を削減するため勤務シフトの調整等を行ってきた。慢性的な登録ヘルパーの不足や、現在雇用契約中の登録ヘルパーの高齢化のため、新規のケースを受けられる曜日や時間、地域が限定されるため新規獲得に繋がらず。今後現在の職員体制を改善する事が困難と予測され、2019年9月

末をもって訪問介護事業を休止する方向で、ご利用者・ご家族・居宅介護支援事業所等と調整を行っていく。

- 地域包括支援センター
京都市の介護・福祉・保健の一翼を担う公的な機関として、公正中立な事業運営を行う。担当地域の地域実情や特性を踏まえた適切かつ柔軟な事業運営を行うと共に、地域が抱える課題を把握し、解決に向けて地域住民や関係団体と協力・連携を行う。地域の高齢者人口や高齢化率、要介護認定の状況等から地域の課題に対する予防的観点から、高齢者が自立した日常生活を送るため適切なケアマネジメントを実施し介護予防の取り組みを行う。
- 配食サービス
京都市からの委託事業として実施し、京都市配食サービス実施要綱に基づき、適切な運営に努める。
 - 栄養バランスのとれた食事の配達による提供。
 - 安否確認。
 - 訪問時ご利用者の様子や変化に気を配る。

【法人本部】

- 社会福祉法他各種法令を遵守し、適切な社会福祉法人運営をはかる。
- 基本理念の徹底
 - 基本的精神（基本理念）であるキリスト教主義施設としての確立を目指す。
 - 基本理念の理解を深めるため、職員に対し研修会・集会を実施する。
 - キリスト教活動委員会主催でクリスマス礼拝及び祝会、イースター礼拝等を開催する。
 - 各部署での理念の唱和及び理念の徹底を促進する。
- 人材育成・法人内研修・新人教育の徹底
 - 職員ひとり一人に合わせた研修計画を立案し、モチベーション・スキルアップの充実を図る。
 - 「きょうと福祉人材育成認証制度」上位認証取得を目指し人材育成のための指導・研修を充実させる。
- 人材確保
 - ホームページ・広報誌・パンフレットを随時更新作成し、各学校への広報・求人活動を充実させる。
 - 各種実習生の受け入れを積極的に行い、早期人材確保を目指す。
 - 介護従事者の求人難を解決し、多種多様な募集方法を検討し人材確保に努める。
- 人事考課
 - 職務に関する能力・意欲を定期的に考課し、これに基づき昇給・昇格・賞与及び人事配置の適正化を図り、経営効率向上を目指す。
- 財務
 - 経理規程に基づき、経理に関わる人員体制を整備し帳票の作成・適正な処理を行う。
 - 介護保険制度に基づき、加算取得に向け積極的に取り組み正確に請求する。
 - 介護報酬収入を主要財源とする運営及び諸経費の節減に努め効率的な法人運営を行う。
 - 各事業所の経営分析を行い、独立採算化の為の運営方法を検討する。
- 労務
 - 法令に基づき就業規則等の整備を行い、職員の処遇を適正に行う。
 - マイナンバーや個人情報の保護、管理を徹底する。
 - 職員の健康診断及び精神的ストレス（ストレスチェック）を実施し、管理する。
 - ハラスメント（セクハラ・パワハラ等）のない組織運営を行う。
- サービスの質の向上
 - 利用者各自の状況を的確に把握し、家族・職員・地域の方々と一体となり利用者が日常生活において安心して暮らせる事業展開を行う。
 - 介護保険制度が定める施設・事業所の運営体制を整備し、利用者ニーズに応えられるサービスを展開する。
 - 第三者評価・外部からの受け入れを行い、情報開示をすることで組織の透明化を図りよりよい介護サービスの提供に努める。

バプテストめぐみ会 役員・評議員（2019年6月22日）

理事		評議員	
理事長	上田 正紀	評議員	平田 哲
副理事長	矢島 直子	評議員	津舟 光子
理事	瀬戸 達雄	評議員	木村 明祐
理事	李 海勲	評議員	船本 智睦
理事	山下 禎雄	評議員	溝淵 美音
理事	上野 浩二	評議員	叶 信治
		評議員	吉田 三穂
監事			
監事	南 寛		
監事	藤井 茂		



創立記念式典

バプテスト・ホーム創立36周年を祝い4月1日に記念式典をとりおこないました。永年勤続職員を賞し、また新しく入職された方々の紹介をする場でもあります。

北大阪教会の古賀牧師からお祝いのメッセージ、めぐみ会の沿革をお話しいただきました。

法人事務局管理マネジャー 田中真由美



全体職員会議

4月9日と11日の2回に分けて全体職員会議を開催しました。2019年度の事業計画・予算について理事長、施設長から説明がありました。

ご利用者にとって安心、安全に生活できる場を提供できますように。

職員等にとって働きやすい環境でありますように。

法人事務局管理マネジャー 田中真由美



北白川いずみ保育園便り

園長 矢島直子



2019年度は91名の子ども達でスタートしました。5月、6月にも新入園児を迎えて、現在は95名が在籍しています。

6月18日には0才児のトマト組から年長児のキャベツ組までみんながホールに集まって花の日礼拝をもちました。おうちから持ち寄ったお花を十字架の下に並べて♪ばらばら落ちる雨よ雨よ♪と賛美歌を歌いお祈りをしました。

それから、クラスごとでバプテストホームやバプテスト老人保健施設、北白川幼稚園、北白川交番、北白川小学校へお花を届けに行きました。子どもたちが神さまに守られてお花のようにすくすくと育ち、人々を慰め、励ます存在になれるよう保育していきたいと願っています。



バプテスト・ホーム便り

こんにちは！バプテスト・ホームです！

バプテスト・ホームでは、ご利用者様・ご家族様に寄り添い、その人らしい人生の実現を求めてともに生きることを日々めざしています。

そのためにさまざまな研修を行いご利用者の皆様に安全に安心して生活していただけるように職員一同毎日頑張っています。

また、クラブ活動はもとより様々なイベントを催しております。

今回は「臨床美術」「花の日訪問」「母の日コンサート」の皆さんの楽しそうな様子や素敵な作品をご覧ください。

みなさん！

北白川の新緑にかこまれた私たちのバプテスト・ホームにぜひ遊びに来てください。元気で明るい利用者様と笑顔いっぱいの職員が待っていますよ。

特別養護老人ホーム バプテスト・ホーム 施設介護マネジャー 島山かず恵



毎年恒例の「花の日訪問」です。

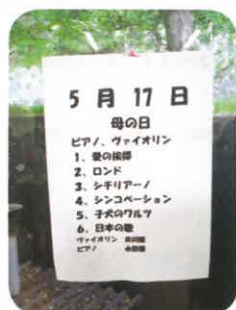
同志社高校のみなさん、同志社女子高校のみなさん、北白川いずみ保育園のみなさんが来てくださいました。お花をいただき、歌を披露していただきました。きれいな花を受け取ったご利用者は大変喜ばれておりました。





「感染症研修」の一コマ…!

感染源を「もちこまない」「拡げない」「持ち出さない」ために…研修を通して日々確認しています。



「母の日コンサート」

ボランティアさんによるピアノとバイオリンの生演奏です。きれいな音色にみなさんうっとり…。



「臨床美術」

ご自身で選ばれた象形文字に絵具で模様を描いていきます。みなさん真剣に取り組まれます。



新人職員紹介

いしだ はじめ
石田 一
バプテスト・ホーム

1月から2棟でお世話になっております。
全くの初心者からの介護のお仕事ですが、職員の皆様や御利用者様に色々教えて頂き、忙しくも楽しく働かせて頂いております。
未熟ながらも誠実に頑張りますので、よろしくお願い致します。

おくもと よしこ
奥本 叔子
バプテスト・ホーム

2月よりバプテストホーム2棟3棟でお世話になっております。御利用者様の安全に気をくばり又、声を掛けて安心してすごして、楽しんでもらえる様心がけています。

はやしだ しんじ
林田 慎司
バプテスト・ホーム

4月からバプテストホームの1棟でお世話になっております。
今まで主に飲食店で働いて介護関係は、初めてなので先輩方に迷惑をかけながら日々やっています。覚えの悪い私ですが、頑張っていますので皆さまよろしく願います。

とみざわ ちえ
富沢 千枝
修学院デイサービスセンター

今年1月から修学院デイで、生活相談員として入職させていただきました。座右の銘に従い「暗いと不平を言う前に」自分も人も大切に「灯をつけて」ここでの一日一日を大切にしていきたいと思っております。

きわどみえ
黄波戸美江
修学院デイサービスセンター

1月より非常勤CWとして勤務させて頂いています。まだCWとしての経験も浅く、日々反省する事ばかりですが、ご利用者様の笑顔にいつも助けられています。この皆さんの笑顔に絶やさない様楽しく過ごして頂ける様頑張りたいと思っております。宜しくお願い致します。

おおつき ひろみ
大槻 弘美
修学院デイサービスセンター

3月より働かせていただいております。
デイサービスのお仕事は、まだまだ未熟ですが、職員の皆さんに教えていただきながら、日々、微力ですが、頑張っています。
「今日は、楽しかった〜！」と利用者様に言っていただけのように、笑顔で寄り添うケアに心がけています。

しょうじ かずえ
庄子 和江
粟田デイサービスセンター

平成31年3月より、粟田デイサービスに生活相談員として、お世話になっております。介護職として、18年程同じ事業所で勤務しておりましたが、バプテストめぐみ会での業務は何もかも「1」から教えてもらう事ばかりです。少しでも早く、安心・信頼・満足が届けられる様に頑張りたいと思っております。

とおい さだこ
遠井 貞子
高野デイサービスセンター

3月より、相談員として入職しました。
利用者様に寄り添い、介護が必要になっても、その人らしく生活が続くようにサポートできれば…と思っております。よろしくお願い致します。

なご
フェルタ直子
高野デイサービスセンター

1月から非常勤CWで働かせて頂いております。
毎日、子育て、仕事とバタバタ忙しく過ごしていますが、笑顔忘れずに、ご利用者様が安心して楽しい時間を過ごせるように頑張りたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

さききひろこ
佐々木寛子
バプテスト・高野居宅介護支援事業所

今年2月からバプテスト・高野居宅でお世話になっております。
ケアマネジャーの経験年数は、11年程になりますが、左京区は初めてですので、日々勉強させて頂き、向上心を持ちお仕事させてもらいます。よろしくお願い致します。

寄付金のご報告 (2019年1月24日～2019年3月31日)

ご支援、ご協力を賜り、ありがとうございます。感謝いたします。

※確定申告を行うことで、当法人へ寄付をされた個人は寄付金控除の対象となり、法人は損金算入ができません。確定申告には領収書が必要となりますので大切に保存してください。

【団体等】

宗教法人平尾バプテスト教会、京都復興教会、同志社中学校・高等学校、日本キリスト教団 京都丸太町教会、川崎バプテスト教会、藤本 進、東京北キリスト教会、大泉バプテスト教会、黒水 斐子、小野 久男、バザー部会

(順不同、敬称略)

編集後記

2019年度が始まりました。
昨年度は集中豪雨、地震、台風と大きな災害があり、当法人も様々な個所の修繕や避難計画、安全性の再確認が求められました。その経験を活かし、ご利用される方々が安心、安全に生活し、満足できるよう今後もサービスの向上に努めてまいります。
今年度もよろしくお願い致します。

(法人事務局)